

平成 26 年 9 月 7 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式・聖餐式

司 会 : 赤塚敏郎兄
奏 楽 : 小島明美姉
おいのり : 下岡晶子姉
さんび : 新聖歌 182 「ただ信ぜよ」 1. 2. 4 節
使徒信条
聖 書 : ヨハネによる福音書 12 章 1~8 節 (P.160)
(朗読: 大神久美姉)
音 楽 : DVD ゴスペル(ジョネッタ・ブッシュ)
メッセージ : 「高価で純粋な生き方」 倉知 契牧師
賛美と献金 : 新聖歌 656 「感謝します」
聖 餐 式
頌 栄 : ハレルヤ (B♭)
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎します。昼食もご一緒ください。
- ◇ 来週は、いよいよ瀬戸カルバリーチャペル8周年記念！
星野富弘さんの花の詩画を歌うソプラノコンサートです。
まだ間に合います！どなたかをお誘い下さりお祝いしましょう。
- ◇ 8周年を主に感謝し特別感謝献金をお勧めします(袋は受付)
- ◇ 9月の愛餐会は9/28に変更。9/14に永原純子さん洗礼式です。
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大Aコース I コリント11章~15章 Bコース 詩篇145篇~箴言10章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年9月14日] 献堂8周年ソプラノコンサート

[司会: 小木秀夫兄、いのり: 平松友子姉、聖書朗読: 持田樹理姉]

[ピアノ/リード: 倉知 契牧師]

アシスト: 大神久美姉、鄭 恵真姉

[献金: 太田昌子姉、加藤和代姉] [受付: 下岡晶子姉]

◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 大神久美姉



リビングライフ 8月号の黙想エッセイにこんな文章がありました。
神学校時代に私が読んだ話。第二次世界大戦のとき、激しい爆撃のさなか、あるカトリック教会の庭にあったキリスト像の手が折れてしまいました。戦後、復旧にあたり、キリスト像を新しくする案、手だけ取りかえる案などが出ましたが、会議の末、両手のないままのキリスト像を残すことになりました。そして、「主イエスはあなたの手を必要としておられます」と書いた銅板を添えたのです。

私が結婚した時、知人がイエスの石膏像をプレゼントしてくれたのですが、引っ越しの際、荷物から取り出すと、片手が折れていました。その時、神学校時代に読んだこの話を思い出したのです。それで、像を部屋に置き、それを見るたびに私は主の手として用いられているか点検するようになりました。

(イ・ジェチオル)

日本のルーテル学院神学校にも、手のないキリスト像があります(写真右)。学校の宝物だそうです。

「手のないキリスト像は静かに、微かにしか聞こえないような声で、私たちの心に語りかけます。

君が私の手になるのだと。その手で傍らにいる隣人と握手ができる。寂しさに震えている人の肩に手を回し、抱きしめてあげることができる。何より両手を合わせて祈ることができる。」

学校のチャプレンは、神学を身に着けることも大切だけれど『収穫は多いが、働き手が少ない』という主の声に答えてほしいと書いておられました。



来週は、この瀬戸カルバリーチャペル献堂8周年記念・音楽礼拝「ソプラノ・コンサート」です。西 由起子さんは本当に素晴らしいプロの演奏家でありクリスチャン。ぜひ楽しみに、一人でもどなたかお誘いしていらしてください。この教会が、主の手となって、この街の人に、家族や知人に主のご愛を届けることができますように。そして何より、祈りの手となって、これからも教会をお支えくだされば幸いです。

インドのカルカッタで主の声を聞いたマザーテレサの詩(うた)。

主よ、今日一日、貧しい人や病んでいる人々を助けるためにわたしの手をお望みでしたら 今日 わたしの手をお使いください

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

すると、香油のかおりが家にいっぱいになった。

ヨハネ 11:33